

2020 年 4 月 1 日

博報堂 神田祐介が 2019 年「クリエイター・オブ・ザ・イヤー」を受賞

株式会社博報堂（本社：東京都港区、社長：水島正幸、以下博報堂）のクリエイティブディレクターである神田祐介が、このたび JAAA（一般社団法人日本広告業協会）が主催する 2019 年「クリエイター・オブ・ザ・イヤー」に選ばれましたので、ご報告致します。

クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞は、1989 年から設立されている賞で、JAAA が毎年その年の広告コミュニケーションに関して最も優れたクリエイティブワークを行った個人を表彰するものです。なお、株式会社電通の川腰 和徳氏もクリエイター・オブ・ザ・イヤーを同時受賞されました。

今回受賞した神田祐介は、「連続 10 秒 WEB ドラマ」という全く新しいコンテンツを生み出し国内外のファンを惹きつけ、また広告の枠さえも飛び出し TV ドラマの企画監修まで手掛ける、新鮮でクオリティの高いコンテンツを生み出す手法が評価されました。

また、今回 8 名が選出された「クリエイター・オブ・ザ・イヤー・メダリスト」に博報堂 D Y グループからは、当社の河西智彦（統合プランニング局 クリエイティブディレクター）、TBWA/HAKUHODO の荒井信洋（Disruption Lab クリエイティブディレクター）と木村洋（Disruption Lab Senior Art Director）、博報堂 D Y メディアパートナーズの嶋田三四郎（クリエイティブ&テクノロジー局長兼統合クリエイティブ GM）も選ばれました。

表彰式は、2020 年 6 月 1 日に開催される、2020 年度定時総会・記念式典にて行われる予定です。

神田祐介のコメント

「これまでに受賞された方々と比べて、自分がこのような素晴らしい賞をいただけたことがいまだに信じられません。勇気をいただいた反面、まだまだ努力を重ねていかなければと身の引き締まる思いもあります。

各作品の関係者の皆様に支えていただいた今回の受賞に恥じぬようこれまで以上に精進してまいります」。

添付資料



神田祐介 クリエイティブディレクター／CM プラナー

主なクリエイティブワーク

- 株式会社タクティー jms 連続10秒ドラマ「愛の停止線」
 - ドラマ24「きのう何食べた？」企画監修
 - 株式会社マンダム LUCIDO TVCM「恥ずかしい」篇
 - 独立行政法人日本スポーツ振興センター BIG TVCM「あの人も BIG」シリーズほか。
- ACC フィルム B 部門グランプリ、SPIKES ASIA2019 Film 部門・Film craft 部門ダブルグランプリ、ADFEST Film craft GOLD、文化庁メディア芸術祭マンガ部門など受賞。
- 愛の停止線で 2019 年度 TCC 賞、ACC 小田桐昭賞を受賞。



■ 株式会社タクティー jms 連続10秒ドラマ「愛の停止線」

■ ドラマ24「きのう何食べた？」企画監修